

活動分野	森の保育		
タイトル	秋晴れを思いっきりウオッチング		
実施日時	平成28年10月12日(水) 9時30分~11時		
実施場所	野田市 三ツ堀里山自然園		
受講者	園児34名 先生2名	FIC会員他スタッフ	2名

活動の内容 秋の高い空の観察、園児自身で俵はゴロゴロ実体験 担当 黒岩・金田

当日(12日)は久しぶりの秋晴れ、このような日にしかできない「秋」を満喫することとした

1) 挨拶

今まで雨などで黒岩さんも私も今期に入って初めての保育、特にスズラン(年中組)は初対面なので、「ラッキーです」「ブラッキーです」とそれぞれ自己紹介すると、前の女の子が「グロッキーなの」?・・・

2) 本日の内容説明

実りの秋、高く見える空、米俵のイラストを見て男の子が「あっバナナだ」「ふとーいバナナだね、昔の米袋だったんだよ、今日は空を見て、その後みなさんに米俵になってもらいます」・・・園児の反応「ええー」



3) 宇宙発見、俵はゴロゴロ

準備体操後途中ドングリやクリを拾いながら原っぱへ、説明後早速用意のブルーシート上で仰向けに寝てしばらく目をつぶり「はい!、何が見えますか」すると「まぶしい、雲、宇宙」その後順番にゴロゴロと転がる、キャーキャー歓声をあげて何度も何度も、一方原っぱには多くのバッタも飛び交いバッタバッタと体にぶつかってくるほどで、10人余りの園児が捕まえてはいちいち「先生、捕まえたよ」と得意げな表情で報告に来る
結局最終的に時間オーバーで最後はジョギングで戻る羽目に

4) 園児の観察眼、ほんの一例

途中ジョロウグモの巣を見て、園児の一人が「クモのご飯はなーに」、他の園児が「巣に飛んできて引っかかった虫だよ」・・・大正解、講師「巣の真ん中の大きなクモがママで、上にいる小さいのがパパだよ、ママはパパを食べてしまうこともあるんだ、可哀そうだね」、園児「ママはよっぽどお腹がすいてしまったのかなあー」・・・優しい女の子でした

5) おわりに

下見でスズメバ発見、予定ルート変更で対処、お陰でハチ合わせをしないで良かったです
園児たちの感想 すごく面白かった、楽しかった

